

令和元年6月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和元年6月28日(火) 午後3時

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄

事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	学校教育課長	中村	雅臣
	社会教育課長	館合	裕之
	是川縄文館副館長	田茂	隆一
	総合教育センター所長	竹花	和人
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	是川縄文館参事	小保内	裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和元年6月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、築瀬委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。

はじめに、議案第29号「八戸市学校給食審議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第29号 八戸市学校給食審議会委員の委嘱について

(中村学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第29号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第29号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第30号「八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」から、議案第35号「八戸市博物館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」までの6件の議案は、いずれも健康増進法の一部改正に伴う、教育委員会所管施設の規則の一部を改正するためのものでありますので、一括して議題としたいと思います。よろしいでしょうか。

[異議なし]

それでは、事務局からの説明をお願いします。

- 議案第30号 八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第31号 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第32号 八戸市総合教育センターの設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第33号 八戸市視聴覚センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第34号 八戸市子ども支援センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第35号 八戸市博物館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、以上6件を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第30号から議案第35号までの6件を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに、「令和元年6月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いします。

(築瀬委員)

5ページから6ページになりますが、日當議員が公民館施設のバリアフリー化について触れています。答弁内容を見ますと、少し矛盾した言い方ですが、既存の公民館への階段昇降機の設置については、多くの課題があるためエレベーターの設置がより望ましいが、なかなか設置は難しいという意味合いで伝わってきます。答弁内容には十分な理解をしていますが、予算的なものは別としても、これからは公民館を含め、公共施設へのエレベーターや階段昇降機というものが必要になってくると考えています。

多くの公共施設や私の住んでいる地区公民館でもエレベーターはありません。高齢化社会が進み、高齢者が階段を昇るのが嫌だということで、3年ほど前から敬老会も小学校のバリアフリー化された体育館で行われるようになってきました。階段を昇るのが難しいだけでなく、階段の踏み外しなどの事故防止も考えられたのかもしれませんが、また、公民館での催し物は、多くの人数が収容できるホールや和室で行うことが多いと思いますが、2階に部屋がある場合は、当然、高齢者は昇れませんので、結果として参加者も少なくなるという問題へとつながっていくのかなと思います。

学校においても特別支援教育、壁の無い教育、障害者と一緒になって学ぶということは、当たり前になってきています。特に公民館は、高齢者だけでなく、健常者や体の不自由な方も一緒に学ぶことのできる生涯学習の核ですので、バリアフリーが大きな課題になるのではと感じました。

近年は4つの地区公民館が新築になったほか、各地区の公民館の修繕や設備の更新が非常に進んでいる

と思います。私が勤務していた7、8年前と大きく違うのは、当時は公民館にコピー機しかありませんでしたが、今は印刷機があります。昔は印刷機を要望しても公民館で大量印刷することは少ないという理由で、なかなか設置してもらえませんでした。現在は地区町内会や諸団体が公民館の印刷機を無料で使うことができます。以前は印刷用紙を持ち込まなければならないという時期もありましたが、現在は用紙を持ち込まなくても印刷できることから、地域の団体が地域活動をする際の行政支援は格段に大きくなっていると感じます。公民館が地域コミュニティの核と言われ、しばらく経ちますが、そういう補助や支援がコミュニティづくりやまちづくりの大きな力になっておりますので、今後も行政の支援をお願いしたいと思います。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。公民館への支援についてぜひこれからもという感想でした。その他ございませんか。

(油川委員)

高橋議員が質問された通学路の安全対策強化についてですが、大阪府の北部地震から今年18日で一年が経過したかと思います。この地震でブロック塀が崩れて児童が亡くなるという大変痛ましい事故がありました。これを受けて八戸市教育委員会もブロック塀の安全性に関して調査をして対応して下さったと思います。引き続きブロック塀の点検を含めて安全の確保のために、地域住民の支援をいただきながら強化していただければと思います。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。意見でした。その他ございませんか。

(武輪委員)

三点お話をさせていただきます。一点目は田端議員が質問された学校給食の無償化についてです。私もできることなら八戸市の学校給食の無償化を目指してほしいなと思っていたのですが、保護者に負担いただいている給食費が年間約10億という数字を見た時に、これはなかなか難しいことなのかと覚悟しているところでもあります。ただし、答弁内容の後半部分に、国や県の動向も踏まえながら、実現の可能性を研究していくという記載もありましたので、ぜひ研究していただきたいなと思っております。

また、学校給食の無償化というところから外れるかもしれませんが、給食費の徴収についてです。学校給食費や集金にあたっては先生方が大変ご苦労されていると伺っておりますので、その先生方の負担軽減に向けて、他の自治体の状況等を参考に研究していただきたく思います。仙台市では学校給食費の管理を「公会計」方式に移行し、市で給食費の管理を行い、口座振替で納付いただいているようです。

二点目です。先ほど築瀬委員がお話されていた、公民館のバリアフリー化についてです。私的なことも含めての感想ですが、先日足を痛めまして、怪我をして歩けない時にバリアフリーというのはなんと足に優しいというのを大変実感しました。高齢者だけでなく、多くの人に優しい施設をつくっていただければと思います。

三点目です。南郷地区におけるスクールバスの整備計画について質問いたします。質問内容としては、

南郷地区のスクールバスの路線を延長し、泥障作、馬場瀬地区に整備をしてもらえるか伺いたいという内容でした。この質問と答弁の経緯についてですが、議員さんから整備をしてほしいと要望を受け、教育委員会として調査に至ったのか、地域の方から何かしら要望があがり、そのような方向に動いたのか、もう少し具体的にお聞かせ願います。また、特例として対応したことについても、お聞かせいただきたいと思っています。

(伊藤教育長)

三点ほどご意見が出されました。一つ目は給食費の集金方法について今後研究してほしいということ、二つ目は公民館のバリアフリー化については、色んな人に優しい施設にしてほしいということで回答を求めるといより感想でしょう。三つ目のスクールバスについては質問が二点ありました。どういう形でこの答弁になったのか、また、特例の対応という記載部分についても答えられる範囲で結構ですが、回答をお願いします。

(中村学校教育課長)

武輪委員にお答えいたします。今回の南郷地区のスクールバスの整備計画につきましては、5月下旬に地域の方々、つまり保護者の方々から教育委員会に要望がありました。それを受けまして、担当が現地調査やバス会社と交渉を行い、運行可能という判断に至りました。特例の部分については、あくまでも通学支援は、統廃合によって通学の学校が変わり、通学の距離が長くなったことに対して支援を行うものがあります。この泥障作、馬場瀬地区につきましては、元々旧市野沢小学校学区からの統廃合でありましたので、通学支援の対象とはしていませんでした。現地調査を行った結果、遠いところで5キロ前後、また通学路に歩道がないという状況もありました。バスの乗車定員が28人であり、中野地区の利用者が20人、泥障作、馬場瀬地区のスクールバス利用希望者が7名ということもあり、バスも利用可能でありましたので、今回特例として運行させていただきました。

もう一点、給食費の徴収についてです。給食費の徴収に限らず、学校徴収金につきまして、それぞれの学校の実状に応じ、学校またはPTAと相談し、口座振替をやっている学校が複数校あります。これにつきましては、良い部分や不便な部分も見えてきましたので、事務支援室や学校事務職員がお互いに情報交換し、各学校の実状に応じて工夫改善しながら進めているところです。今後もやり方について研究していきたいと思っています。ご意見ありがとうございました。

(武輪委員)

ありがとうございました。二つのことについてお聞きしましたが、どちらにしてもそれぞれ課題がありますが、丁寧に対応していただいていることをお聞きすることができました。これからもよろしくお願いたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ご質問等ございませんか

(大庭委員)

一点目ですが、高橋議員の質問の防災安全ガラスの導入についてです。答弁内容として「防災安全窓ガラスの導入につきましては、現在の窓ガラスの耐震対策の効果と文科省の動き及び他都市の状況等を踏まえ、対応を検討する必要があると考えている。」という答弁がございました。私の実体験になりますが、地震で生徒を避難させた時に、特に体育館用の大きな窓ガラスが割れて、先が尖った状態で落ちてきました。直撃すると完全に頭に刺さってしまうのではないかという危険な光景を目にし、本当にこの窓ガラスの問題は大きいなと感じております。もし現状でそのような危険性のあるガラスが利用されている施設がありましたら、震災対策のためにも、防災安全ガラスの導入等を今後検討していただければと思います。

もう一点ですが、苫米地議員の「教育上特別な支援を要する子ども達への配慮について」です。私は高校教員出身になりますので、この教育委員という立場になり、各小学校、中学校にお邪魔させていただく機会をいただきました。その際に特別な支援を要する子どもたちへの対応を目にし、八戸市の各小・中学校では非常に手厚く、丁寧な支援をしていただいていると感じています。今回の教育長答弁の中でも、現在61校で70名の特別支援アシスタントが支援にあたっている、さらには一学期の様子を見て10名ほどの追加も考えている、昨年度からは勤務時間を増やすことにより勤務時間を柔軟に組めるようにした、という答弁がございました。これも本当にきめ細かにやっていたらいいなと思います。

支援学級数も14年前に比べると2倍、在籍数は2.6倍に増加しているということです。支援を要する子どもたちが増加傾向となっています。このような中で人員のやりくりは大変だと思いますが、なんとか継続しながら手厚い対応をお願いしたいと思います。いつも言うことですが、ここまで支援いただいた子どもたちをうまく活かすために、あとは高校側でどう受け入れていくか、どう育てていくのかが課題となります。中学校、高校などが連携した継続的な指導が大事になってくるという印象を持っています。今後もこの支援に関する対策等についてはぜひ対応を続けていってほしいと思います。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。教育支援ではご意見をいただきました。最初の方の防災安全窓ガラスについては担当の方からなにかございますか。

(橋本次長兼教育総務課長)

先ほど大庭委員さんがおっしゃったとおり、学校の体育館が避難所としても使われることがありますので安全面に配慮しなければならぬ必要はあるかと思っています。バスケットボールのゴールや照明器具の耐震対策は国の補助を使っておりますので、窓ガラスにつきましても、同様に国の補助の動きを見ながら検討していきたいと思っています。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、令和元年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業について、事務局からの説明をお願いします。

【令和元年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業」について】

(小笠原教育部次長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

次に、国宝指定10周年記念講演会「縄文土偶の魅力」について、事務局からの説明をお願いします。

【国宝指定10周年記念講演会「縄文土偶の魅力」について】

(田茂是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

次に、図書館イベントについて、事務局からの説明をお願いします。

【図書館イベントについて】

(掛端図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

では、少しだけ私から。図書館では土日や祝日に夜遅くまで利用したいという意見が結構あるのですか。

(掛端図書館長)

アンケートによって多く寄せられているのですが、利用実態といたしましても時間帯別に見ますと、4時から5時の貸出状況がかなり多く、1日の中でも一番多い時間帯となっております。おそらく閉館間近になり、本を借りていくのかなと思われるのですが、結構多くの親子連れが利用しています。

当初、開館時間延長は考えていませんでしたので、今回は現在の勤務体制で対応可能かどうかという検証も含め、試行しています。

(伊藤教育長)

県内の他の図書館の状況はどうですか？

(掛端図書館長)

青森市では平日、土日、祝日にかかわらず、朝9時から夜8時までとなっております。

(伊藤教育長)

家族みんなが共稼ぎになってきており、夕方以降の方が図書館に行きやすいのかもしれませんがね。他都市の状況も確認して、職員の勤務体制の問題もあるかと思っておりますので、試行しながら検討を重ねていただきたく思います。

その他、事務局からの報告事項はありますか。

[なし]

最後にその他ですが、委員の皆様から何かございませんか。

(大庭委員)

一点感想を述べさせていただきます。26日の八戸市制施行90周年記念講演として内山貞文氏による「笠木に託された復興への願い～海が国境でなくなった時～」という市民大学講座がありました。人の熱意が人を動かし、さらに人の輪をどんどん広げていくということで、空想した物語ではなく、現実起こった一つの物語だというような感覚で拝聴させていただきました。会場にはこの事業に尽力された方々の姿もありまして、八戸市の市民大学講座としては一つの特色ある有意義な講演だったと感じております。全国区の有名な方が来れば、聴講生もたくさん入るのかもしれませんが、それとは一味違った八戸市しかできない市民大学講座でした。また、笠木を通じた事業が縁となり、地元の子どもたち、あるいは中学生の海外派遣事業等を通して、現在もつながりが続いているということはすごく嬉しいことだと感じています。この事業に尽力された方々、この講演を企画してくれたことに改めて感謝したいと思います。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ほかに何かございませんか。

(武輪委員)

日本語学習支援といいますか、日本語を母語としていない子どもたちについてお聞きしたいと思います。以前から学校訪問をしていますと、八戸市でもそういう子が増えていると感じていました。今月21日に日本語教育推進法が参院本会議で可決、成立され、今後さらに法の整備や財政措置などが講じられていくと思いますので、八戸市の現状はどういう状態にあるのかお聞きしたいと思います。本日の返答でなくても構いませんので、何かの機会の折にお聞きいただければと思います。

もう一点、昨日の八戸市市制施行90周年の式典において、子どもたちが大変活躍してくれていることに一市民として非常に誇らしく思いました。オープニングの法霊神楽や、12名の小学生の市民憲章、キャッチフレーズを作ってくれた子どもたちの表彰の場面、そしてアトラクション、小・中学生、高校生も含めた次世代を担う子どもたちがとても輝いているなど思いました。これも日頃の先生方のご指導や教育委員会の皆様のご尽力頂いているお陰だなと感じました。本当にありがとうございます。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。それでは外国籍の子どもたちの日本語支援について事務局から何かありますか。

(中村学校教育課長)

手元に資料がございませんので、概要だけお話させていただきます。八戸市も外国籍のお子さんが増えている状況です。これにつきましては平成22年だったと思いますが、NPO法人の方々の協力を得て、各学校の方で日本語教育支援をしていただいているところです。立ち上げた当時は年間で6、7人と一桁の人数でしたが、現在は年間14人ほどおり、増えてきております。週に1、2時間ほどになりますが、国語などの授業時間に、個別授業として日本語支援をしていただいている状況です。

(伊藤教育長)

ほかに何かございませんか。

(油川委員)

私も内山氏を直接お招きした市民大学講座に出席させていただきましたので、少しだけ感想を述べさせていただきますと思います。これまでも笠木が返還されるまでの経緯に深く感銘を受けておりましたけれども、今回内山氏のお話を直接伺いまして、その感動が大きくなりました。返還に携わった多くの方々は心と心をつないで、このような偉業を成し遂げたのではないかと思います。本日は欠席されておりますが、古里館長も大きな役割を果たされたのだなと改めて感じました。東日本大震災は本当につらい傷跡を残しましたが、復興への願いをこのような素敵な形に変えた心の力の素晴らしさというものを実感いたしました。絆とか心に寄り添うという言葉が持つ真の意味というのに触れることができた講演会でした。市制施行90周年記念にふさわしい講演だったと思います。古里館長に対しましても感謝申し上げます。そして企画をしてくださいました、館合社会教育課長を始めとするご担当の皆様、本当にありがとうございました。以上です。

(伊藤教育長)

あとよろしいでしょうか。

[なし]

閉 会

(伊藤教育長)

これをもちまして令和元年6月の教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後4時5分閉会)